第4回 Gene Awareness 市民公開シンポジウム

全ゲノム 解析から見えてくる 未来

―研究成果を治療・予防・家族の健康につなげるために―



2027年 1月22日（金）

13:00～16:00

事前申込制　　参加費無料

会場：がん研究会有明病院　吉田富三講堂
ZOOMライブ配信

対象：患者さん・ご家族、医療者
市民の皆さま



来場された方にピンバッジをプレゼントします！

がん研究会公式キャラクター
かにこちゃんとGene Awareness®

お申し込み

QRコードまたはURLからお申し込みください

https://forms.gle/FQnYehhv8kz4mbur7

お問い合わせ：
がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部（10番外来）
メールアドレス　rinshoiden@jfcr.or.jp

ジーン・アウェアネス Gene Awarenessとは？

“Gene（遺伝子）”と“Awareness（関心を持つこと）”を組み合わせた合言葉。　遺伝情報をがんの治療や予防、家族の健康に活かすとともに、一人ひとりの遺伝的な違いを尊重し合える社会を目指しています。

ミニワークショップ（現地開催のみ）

上記お申込みフォームで受付中です

「家系図を作ってみよう！～あなたと家族の健康を考えるために～」

遺伝カウンセラー・家族性腫瘍コーディネーターと一緒に、家系図を書いてみませんか。
あなたとご家族の病歴を振り返り、ご自身で家系図を作る体験型ワークショップです。

1月22日（金）12:00～12:45 ／ 定員10名（先着順・事前申込制） ／ 吉田講堂近くのセミナー室

主催：公益財団法人がん研究会有明病院 臨床遺伝医療部／Gene Awarenessプロジェクト

本シンポジウムは、日本癌治療学会／ファイザー株式会社「がん情報の均てん化」プロジェクトから研究助成を受けています。

プログラム

2027年1月22日（金） 13:00〜16:00

司会：上野 貴之 氏・植木 有紗 氏（がん研究会有明病院）

開会の挨拶：がん研究会有明病院 病院長 渡邊 雅之氏

【第1部 13:00〜14:10】全ゲノム解析でわかってきたこと

01



上野 貴之 先生

公益財団法人がん研究会有明病院 院長補佐
乳腺センター センター長、乳腺外科 部長
先端医療開発科 がんゲノム医療開発部 部長

全ゲノム解析は何を目指しているか

02



深田 一平 先生

公益財団法人がん研究会有明病院
ゲノム診療部 副部長

がん全ゲノム解析の「いま」と「これから」
―研究成果を医療につなぐ仕組みづくり―

03



森 誠一 先生

公益財団法人がん研究会
がんプレシジョン医療研究センター
がんゲノミクス研究部 部長
公益財団法人がん研究会有明病院 遺伝子診断部 部長

全ゲノム解析研究から見えてきたこと

04



全ゲノム解析をきっかけに遺伝性腫瘍の診断につながった
ある患者さんとご家族のストーリー

【第2部 14:30〜16:00】遺伝情報の活用とさらなる可能性

05



植木 有紗 先生

公益財団法人がん研究会有明病院
臨床遺伝医療部 部長

全ゲノム解析からわかる
がん患者さんの遺伝情報を
治療と家族の健康にどう活かすか

06



藤波 芳 先生

独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
臨床研究センター 視覚研究部
視覚生理学研究室 室長

がん以外の疾患で遺伝情報は
どのように役立つのか
―RPE65関連網膜症の遺伝子治療の最前線―

07



小崎 健次郎 先生

慶應義塾大学医学部
臨床遺伝学センター 教授

網羅的遺伝子解析の有用性：
難病・希少疾患分野における医療実装

08



丸 祐一 先生

鳥取大学 地域学部地域学科 教授
日本ゲノム医療推進機構 事業企画運営部
ELSI室・PPI室 室長
公益財団法人がん研究会 非常勤特任研究員

遺伝情報を活かすために、
社会にできること

閉会の挨拶：がん研究会有明病院 副院長/看護部長 清水 多嘉子氏